

平成 24 年度第 3 回政策会議 結果概要

- 1 開催日時：平成 24 年 5 月 14 日（月）13:00～14:00
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1 条例の一斉点検・見直しについて

【重松法務・文書課長】（資料 1 に基づき説明）

条例の一斉点検・見直しの趣旨、方法、スケジュール等について、資料 1 のとおり実施していきたい。

【鈴木知事】

点検・見直しシートの「④効率性」の 3 点目にもあるが、条例の点検は、個々の条例の点検だけでなく、条例と条例との関係についても重複していないか、他の条例と比べて手段が妥当かどうか、また規制の方法についても整合がとれているかなど、条例間についても点検してほしい。

他部局の条例との比較・検討は難しいかもしれないが、最低限、同じ部局内の条例間の点検は行ってほしい。

また現在、各部の本部会議と個別計画の見直しを行っているが、こちらもよろしく願います。

議題 2 平成 24 年版成果レポート（案）について

【西川財政課長】（資料 2-1、資料 2-2 に基づき説明）

平成 24 年版成果レポートの構成について、資料 2-1 のとおりとしたい。

春の政策協議において議論がなされた内容について適切に反映し、内容を確定させていきたい。

今後、原案を県議会第 1 回定例会 6 月会議に提示するとともに、確定後には 7 月中旬を目途に県ホームページ及び紙資料で公表したい。

また、正本冊子について、本庁舎、各県民センターで配布するほか、市町や関係団体等へ広く配布したい。

【大橋企画課長】（資料 2-2 に基づき説明）

第 1 章は、平成 23 年度の主な取組を「平成 23 年度県政運営の考え方」の 3 つの政策展開を基本として記述している。現在、春の政策協議を踏まえて、記述を修正作業中であるため、本日は構成についてご議論いただきたい。

【鈴木知事】

第 1 章の幸福実感指標については、「感じる」、「どちらかといえば感じる」との回答、「感じない」、「どちらかといえば感じない」との回答のいずれかしか書いていないため分かりにくい。

【山川雇用経済部長】

第 1 章の小見出しについては、「みえ県民力ビジョン」の政策体系と合わせるのか、「平成 23 年度県政運営の考え方」の分類に従うのか整理が必要である。今の小見出しは取組内容と一致しておらず分かりにくい。

【大橋企画課長】

小見出しについては検討したい。

【鈴木知事】

児童虐待については県の体制整備など平成 23 年度に取り組んだことが書けてないのでしっかり記述すること。

議題 3 第 1 回みえ県民意識調査の結果について

【城本戦略企画総務課長】 (資料 3 に基づき説明)

今年度以降も継続して調査を行う。特に個別テーマの結果については、担当部局において、具体的な取組みを検討する際の参考データとして利用し、政策・施策の推進につなげることとしている。

(質疑なし)

議題 4 障がい者雇用促進企業等からの物品等調達拡大について

【樋口雇用経済部雇用対策課長】 (資料 4 に基づき説明)

障がい者の雇用の促進に取り組んでいるところであり、障がい者を雇用する事業所等の支援につながる「障がい者雇用促進企業等からの物品等調達優遇制度」について、各部局の積極的な利用をお願いしたい。

【山川雇用経済部長】

就労支援事業所等では弁当なども販売しており、イベントへの参加や会議での利用など、できることから取組みをお願いしたい。雇用経済部としても「リーディング産業展」等の部関係イベント等において積極的に活用していく。

(質疑なし)

議題 5 平成 24 年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)

トップ会議の開催について

【太田地域支援課長】 (資料 5 に基づき説明)

今年度のトップ会議を「1対1対談」と「サミット会議」により開催するので、各部の対応をお願いしたい。開催日程等については市町と調整中。議題によっては担当課長等の出席をお願いしたい。1対1対談については、昨年出された課題の検証と今年の課題という形で進めていきたい。

【鈴木知事】

手持ち資料の準備について、議会答弁とかなり温度差があると感じる。(市町の要望等に対して)無理なことまでやれということではないが、単なる経緯等の説明だけでなく、一步でも前に進めるように、なるべく前向きに答えられるように、よく検討して欲しい。

また、この件にかかわらず各部から私にレクをしてもらう際には、役職にこだわらず、資料を作成した担当者などの積極的な出席をお願いする。経験を積んでもらいたいし、行間にこめた思いも聞きたい。